
月刊ふしぎ
11月号

【特集】

美術　　「絵文字」
美術部　「ペン画　共同制作」

【連載】

家庭科　「ホームプロジェクト」

≪今月の表紙≫

「魚の目」
美術部共同制作

「絵文字」

中学１年生の作品です。レタリングされた漢字の一部をイラストに置き換えて、楽しい絵文字にしました。

デザインの課題として、見た人に“伝わること”を目標にしています。元の漢字の形を生かしつつ、その意味が強調されるようにデザイン案を洗練させました。生徒たちのアイディア一つ一つをお楽しみ下さい。

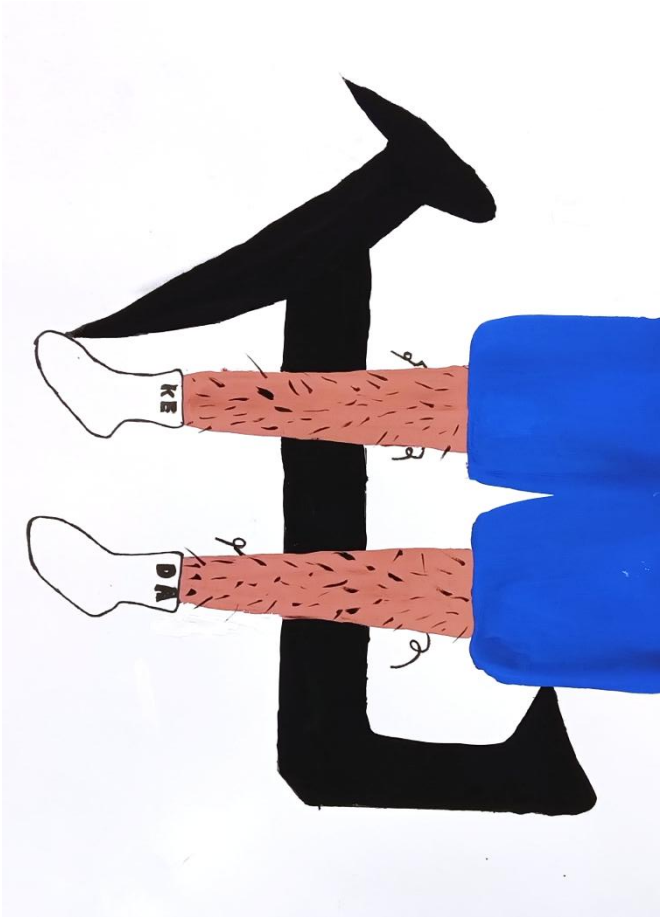
次号でも引き続き紹介いたします。



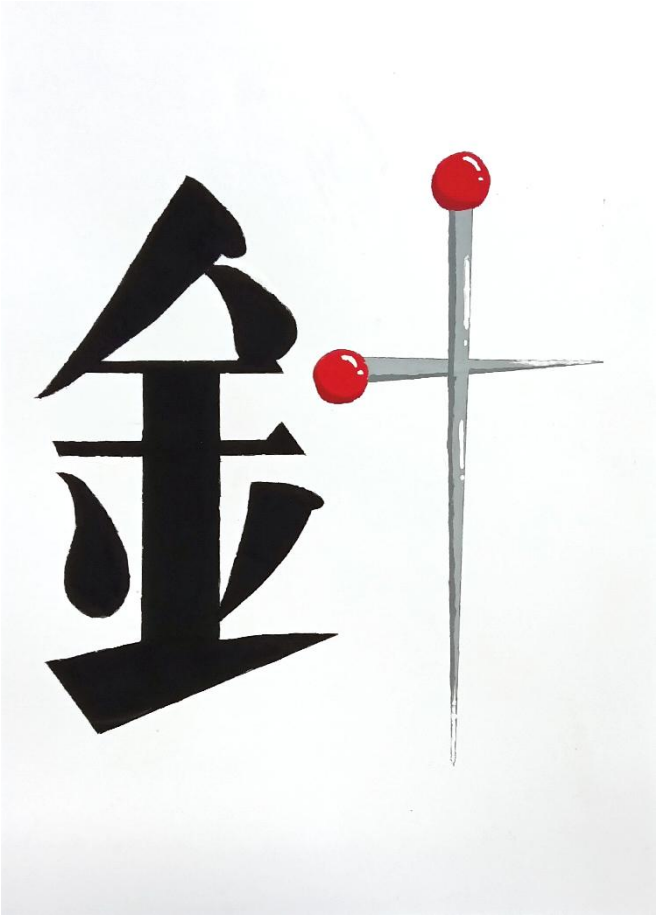
Ｓさんの作品



Ｓさんの作品



A さんの作品



O さんの作品



Ｓさんの作品



Kさんの作品



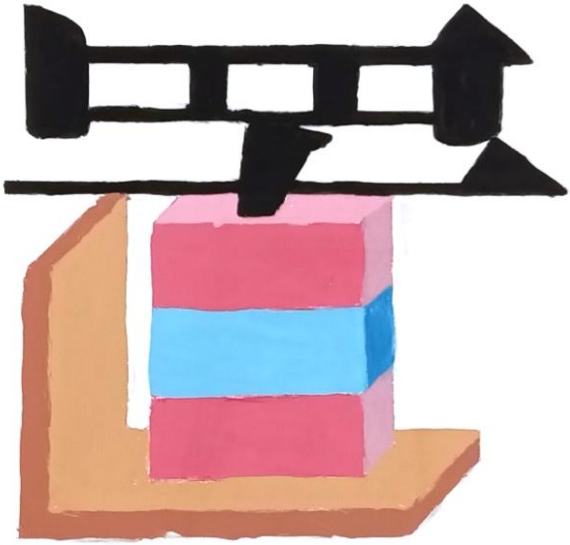
Ｆさんの作品



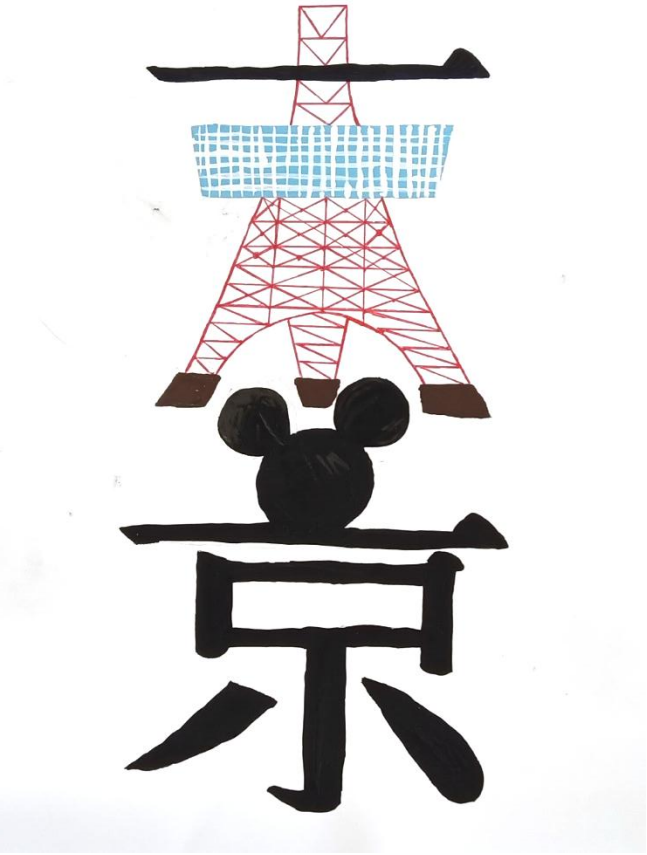
Ｈさんの作品



A さんの作品



Ｈさんの作品



Ｍさんの作品



Kさんの作品

「ペン画共同制作」

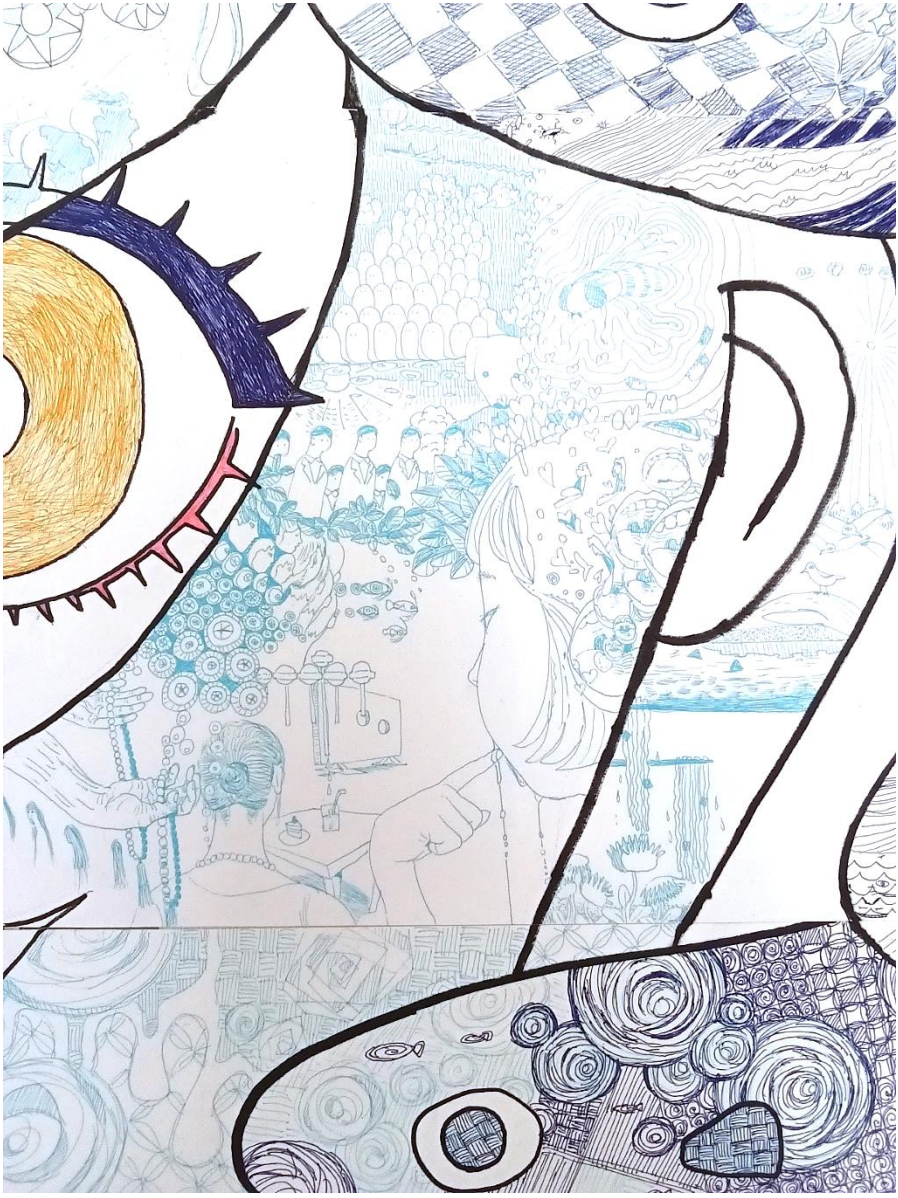
美術部の作品です。

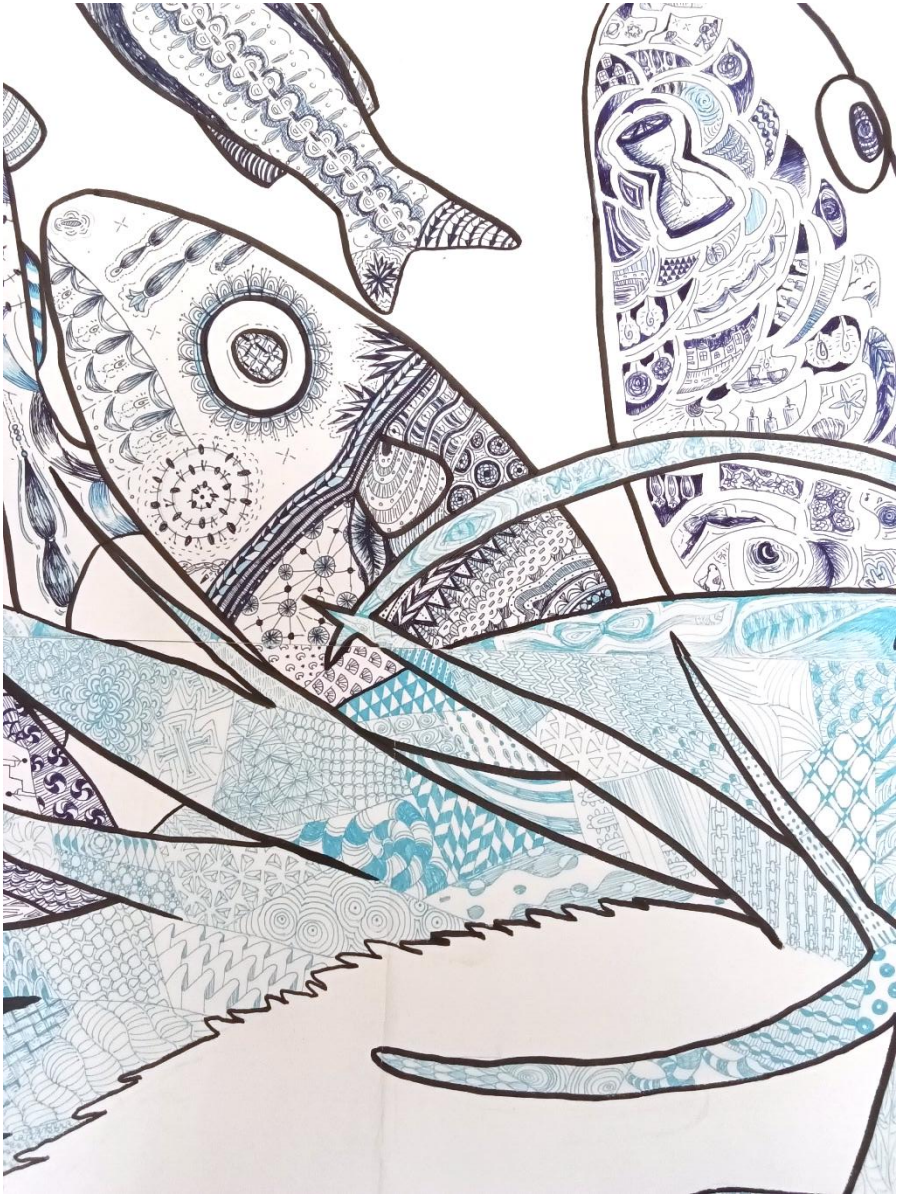
美術部員全員で画面を区分けして、約１ｍ×２ｍの大きな作品を作りました。

輪郭の中の着色には主にゼンタングルという連続的に模様を描く技法を使っていますが、よく見るとオリジナルのイラストやキャラクターもちらほら。拡大部分もお楽しみ下さい。



共同制作　“魚の目”

















「ホームプロジェクト」

高校１年生のレポートです。

家庭科の名物課題“ホームプロジェクト”。生活の中で改善すべきポイントを見つけ、実践を通してその成果を分析します。

今月のテーマは“家族の自由時間を作ろう！”です。お母様の家事負担をグラフにして分析。自分がお手伝いをすることで、自由時間増加を目指します。

家族に自由時間を作ろう！

高１　Ｓさんのレポート

目次

1. テーマ設定の理由
2. 実態調査の方法
   ①方法と手順
   ②日程
3. 実態調査の記録
4. 実態調査から見えた問題点
5. 改善案
   ①方法と手順、記録の方法
   ②日程
6. 実践記録
7. 反省・評価・考察
   ①自己評価・反省
   ②家族の評価・反省
   ③今回の取り組みへの考察

1.　テーマ設定の理由

もっと料理や掃除などの家事ができるようになりたいという私の思いが、母の負担を減らすことに繋がると考えたからである。また私が家事をすることで家族団らんの時間が増えると感じたから。

2.　実態調査の方法

①方法と手順

1　1 週間の母が家事をしている時間の平均を出す。

2　1 週間の母の過ごし方を円グラフにまとめる。

②日程

5 月 11 日～5 月 17 日

3.実態調査の記録

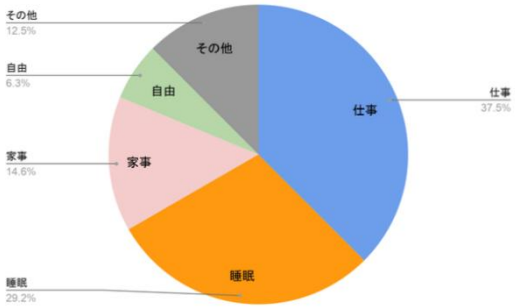
・母の 1 週間の家事時間平均

→約 5 時間 36 分

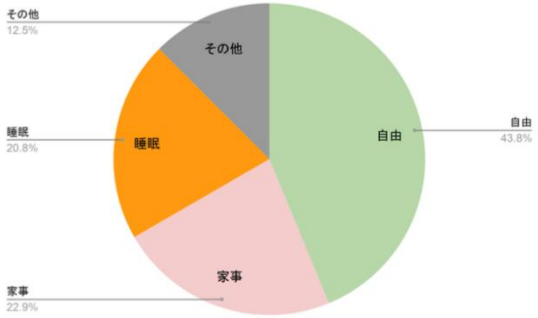
・1 日ごとの過ごし方

※家事時間は赤系統の色

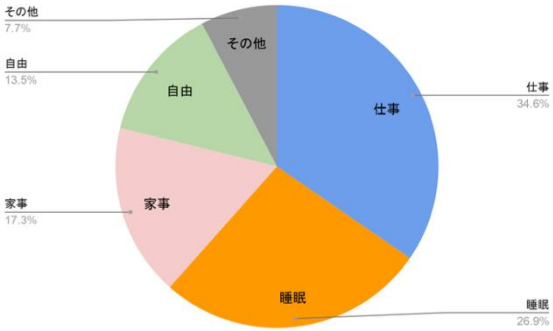
＜5/11（月）＞



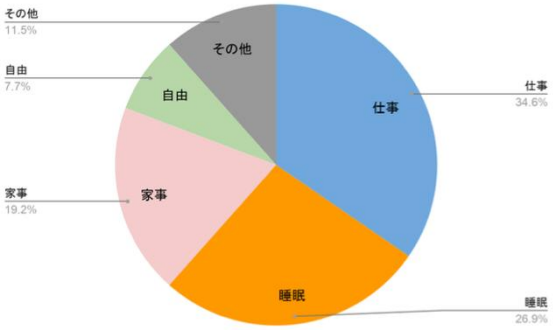
＜5/12（火）＞



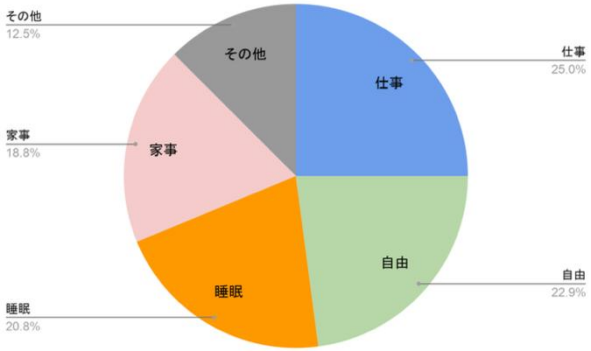
＜5/13（水）＞



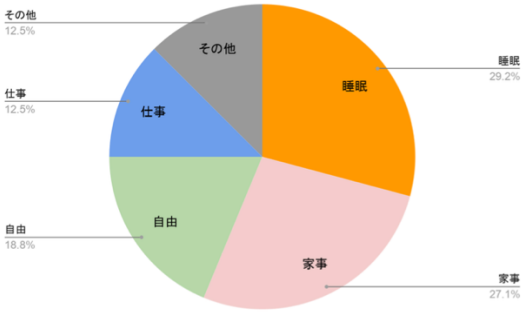
＜5/14（木）＞



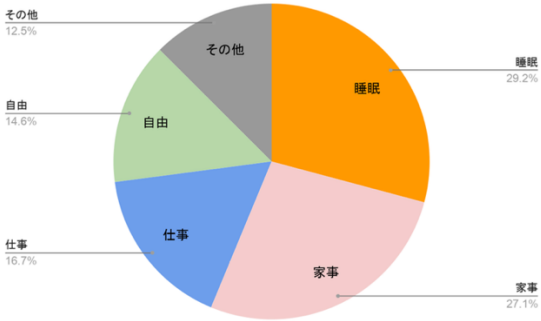
＜5/15（金）＞



＜5/16（土）＞


その他
12.5%
その他
睡眠
29.2%
睡眠
仕事
12.5%
仕事
自由
自由
18.8%
家事
家事
27.1%

＜5/17（日）＞


その他
12.5%
その他
睡眠
29.2%
睡眠
自由
14.6%
自由
仕事
仕事
16.7%
家事
家事
27.1%

4.　実態調査から見えた問題点

① 母の家事時間が 1 日あたり 5 時間 36 分にものぼり、自由時間を大きく圧迫していること。

→実態調査の結果、母は 1 日のうち 5 時間 36 分という膨大な時間を家事に費やしていることが分かった。

仕事や用事を除くと、起きている時間の大半が家事労働になってしまっている。これによって、母が自分の趣味を楽しんだり、心身を休めたりするためのまとまった自由時間がほとんどないことが大きな問題であると考える。

② 家事には休日がないため、完全なオフの日を作れないこと。

→家事には休みがなく毎日発生するため、私が少しでも手伝うと、自由時間が増えると考えた。

5. 改善案

① 方法と手順、記録の方法

・「自分の弁当箱と水筒を洗う、自分の洗濯物を畳む・干す、掃除機、夕飯作り」に取り組み、日にちごとに表にまとめる。

※火、水、金曜日は学校とバレエがあるため、できる日のみ記録する。土、日もバレエがあるが、平日に比べ時間があるため記録する。

＜理由＞

家事の中で、私でも取り組むことができそうで続けられそうだと考えたから。

表でまとめると実践できた日とできていない日が一目で見て分かりやすいと感じたから。

・月、木、金、土、日曜日の母の過ごし方を記録し平均して、円グラフにまとめる。

＜理由＞

実態調査で調べたグラフと比較して、変化を見やすくするため。

② 日程　　7 月 1 日～7 月 31 日

6.　実践記録

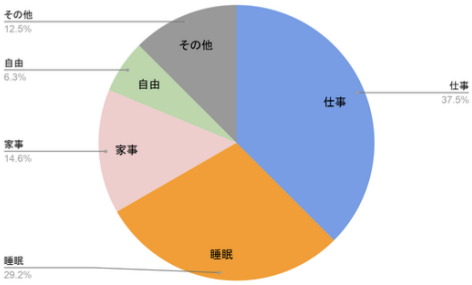
①1ヶ月間の家事記録

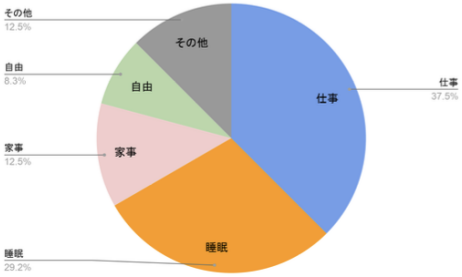
	7月1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
皿洗い	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
畳む	○			○	○				○		○	○	○			○
干す		○				○						○				○
掃除機		○	○		○	○			○		○		○			○
夕飯					○							○				

	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
皿洗い	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
畳む		○					○		○		○		○		○
干す			○							○	○			○	
掃除機	○	○	○	○			○	○		○		○	○		○
夕飯			○							○		○		○	

②過ごし方

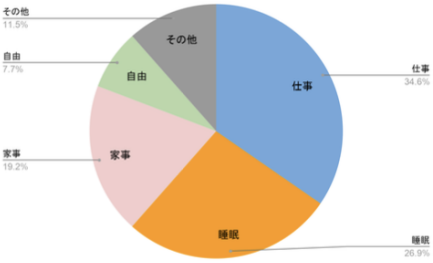
＜月曜日＞

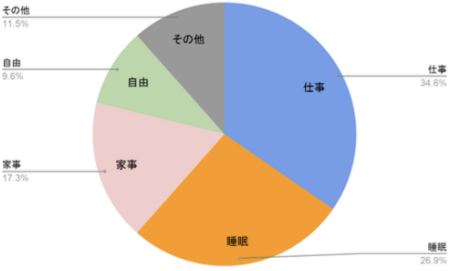




実践前に比べて自由時間が2.0%増えた。

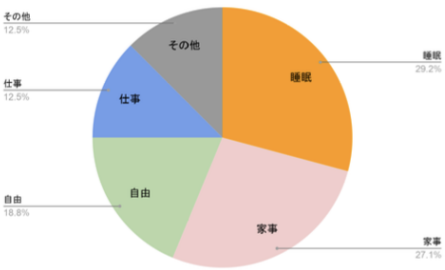
＜木曜日＞

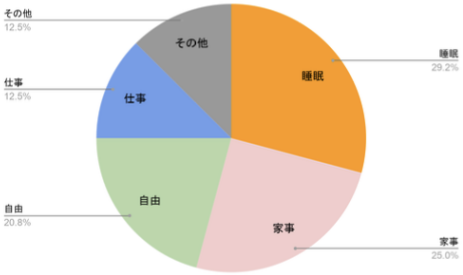




実践前に比べて自由時間が1.9%増えた。

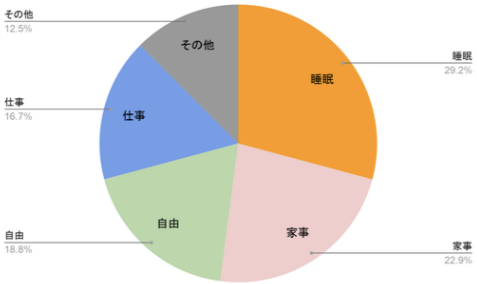
＜土曜日＞

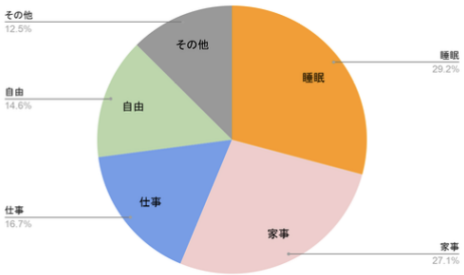




実践前に比べて自由時間が2.0%増えた。

＜日曜日＞





実践前に比べて自由時間が4.2%増えた。

7.　反省・評価・考察

①自己評価・反省

自分で実践できる曜日を考えてできたことが良かったと思う。自分の弁当箱・水筒を洗う、自分の洗濯物を畳む・干す、掃除機、夕飯作りを全てこなせた日がなかったため、これからは１つずつの作業を手際良く行い、より多くの手伝いをできるようになりたいと考える。

③ 家族の評価・感想

今回、このようなテーマを自分で考えてやり遂げたことが素晴らしいのは勿論、何よりその温かい気持ちがとても嬉しかったです。

普段忙しく過ごしている中で時間を作り、手伝いをすることは、とても大変だったと思います。

これから先、家事を自分でやることになった時に、今回の経験が必ず役立つと思います。

これからも一緒に家事をする時間を作り、出来ることを増やして、この先の将来に役立つように伝えていきたいです。

家族のことを思いやる気持ち、そして実際に行動する力を間近で見ることができ、とても感動しました。どうもありがとう！

④ 今回の取り組みへの考察

今回の取り組みによって母の自由時間が増えたとともに、普段はあまりしていなかった洗濯や夕飯づくりに挑戦することができて良かったと考える。

私が実際に家事を手伝ったことで母の自由時間が増えたことをデータとして目で見ることができ、達成感を感じることができた。

また、増えた自由時間で母がゆっくりしている姿を見ることが出来たのが嬉しかった。

また、取り組みを進めているうちに、食器洗いや洗濯物畳みの所要時間がどんどん短くなっているのを感じ、手応えを得ることができた。

これからも今回の経験を活かしてできることを増やして積極的に家事を手伝っていきたい。